

令和 7 年度

石川県立看護大学 大学院看護学研究科

博士前期課程 入学試験

英 語 問題 (60 分)

[注意事項]

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子、解答用紙の中を見てはいけません。
- 2 問題冊子は ページあります。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁
または解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答はすべて解答用紙の指定された解答欄に記入しなさい。
- 4 解答用紙の表紙に受験番号および氏名を記入しなさい。また、以降のページには受験
番号を記入しなさい。
- 5 この問題冊子の下書き用紙等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけ
ません。
- 6 問題冊子は試験終了後、持ち帰りなさい。

問題 次の英文を読み、設問に答えなさい。

この部分につきましては、著作権の都合上、公開していません。

(World health statistics 2023: monitoring health for the SDGs, Sustainable Development Goals. p.6-8. ISBN 978-92-4-007432-3, electronic version より一部改変して引用)

(略語注)

ARR, Average annual rate of reduction	NMR, Neonatal mortality rate
SDG, Sustainable Development Goal	U5MR, Under-five mortality rate
UI, Uncertainty interval	

問 1 下線部(1)を和訳しなさい。

問 2 下線部(2)が以下の日本語の意味になるように、() 内の語句を並び替えなさい。ただし、不要な 1 語句があるので除いて答えること。

2000 年以降、小児死亡率の削減において世界的に大きな進展がもたらされている。

問 3 Figure 1.4 を参照し (ア) から (エ) に適切な数値を入れよ。

問 4 Figure 1.5 を参照し (オ) (カ) に入る適切な地域名を下記から選び、番号を記載せよ。

- ① African Region
- ② Region of the Americas
- ③ Eastern Mediterranean Region
- ④ European Region
- ⑤ South-East Asia Region
- ⑥ Western Pacific Region

問 5 下線部(3)を達成するためにすべきことについて、本文の内容を踏まえ、具体的な例もいれて 200 字以内にまとめよ。

<出題意図>

英文の理解力をみるために、和訳、英文構成、英文で説明された図の理解度および課題文で提示された内容の理解度を問うた。

<解答例>

問 1

2030 年までに新生児死亡率（生後 1 カ月間の新生児の死亡率）をできれば出生 1000 人当たり 12 人まで下げること、また、同様に 5 歳未満死亡率（5 歳未満の子どもの死亡率）をできれば出生 1000 人当たり 25 人まで減少させることを SDG の目標として設定した。

問 2

Substantial global progress has been made in reducing child mortality since 2000.

問 3

(ア) 3.2 (イ) 2.2 (ウ) 4.0 (エ) 2.7 問 4

問 4

(カ) ① (キ) ⑤

問 5

どこで生まれても、すべての子どもたちが人生で最良のスタートを切り、将来に希望を持てるようにするためには、妊娠前、妊娠中、出産過程で生じる諸問題に対応すること、新生児に特有の感染症に対応すること、また、5 歳未満児では急性呼吸器感染症などの感染症対策を講じることなどが必要となる。特に、死亡率の高い国々では、これらの介入を質の高い形で提供することを待ったなしに取り組む姿勢が必要である。（191 字）

注：上記「出題意図」および「解答例」に関する質問には回答いたしかねます。